

# 9月議会での村上千早しげ議員の一般質問を紹介



9月6日から25日まで、9月市議会が行われました。村上千早しげ議員は、一般質問と経済建設常任委員会の審査、決算審査にあわせ、庁舎内での政党機関紙の勧誘・配達の自粛を求める陳情に対する反対討論と、大奮闘の議会でした。順次、議会の報告をしていきますが、今回は一般質問の一部についてご紹介します。

## ■携帯回線を使った緊急通報システムも

問 発作などの持病のある一人暮らしの高齢者は「緊急通報システム」の設置を申請できるが、固定電話回線しか対応していない。固定電話のない高齢者も使えるよう、携帯回線を使った「緊急通報システム」も使えるようにできないか。

答 固定電話回線が減ることで緊急通報システムの設置も減っている。全国の事例を研究すると同時に、次の高齢者福祉・介護保険事業計画の策定市民委員会の中でも議論のテーマにしたい。

## 支所廃止に伴う対応策の効果は？

問 大楽毛郵便局、生協二店舗の住民票などが交付できるマルチコピー機の利用状況はどうか。

答 7、8月で3箇所合わせて106件。

問 一店舗だけで毎日5、60件の利用があると見込んでいたのではないか。

答 コンビニ交付が増えたためだ。

問 コア3館のリモート相談はどうか。

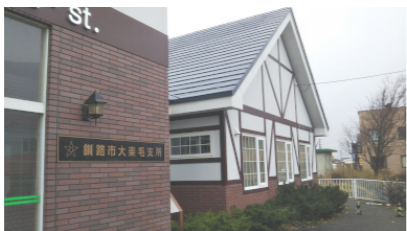
答 8月までで鳥取・おおぞらは0、かがやきは17件。

問 弁護士などの住民票の宅配サービスはどうか。

答 登録は2件、交付は4件。

答 これだけ対応策の利用が少ないことをどう思うか。

答 だんだん利用は減っている。



## 「まじぎ」支所の再開を検討すべき

問 支所廃止に伴う対応策がほとんど利用されていないことを「安堵している」と聞き直り、会計年度任用職員の雇用を守ることも約束しないなど、支所廃止を強行した市長の責任は重大です。

問 アイヌ協会から要望を受けているアイヌ工芸の担い手育成滞在施設、春採生活館へのコーディネートターの配置をどう考えているか。

答 阿寒湖の既存施設も含めて、担い手育成滞在施設は検討したい。春採生活館を訪れた人への説明員がいけないことは課題であり、市と協議して可能な方法で対応したい。

問 ヒグマ舎の改修（カムイに逢える動物園整備事業）と正面入り口の石積みの改修は来年度に行うのか。

答 ぜひ進めたいと考えている。

問 アイヌ協会から要望を受けているアイヌ工芸の担い手育成滞在施設、春採生活館へのコーディネートターの配置をどう考えているか。

答 阿寒湖の既存施設も含めて、担い手育成滞在施設は検討したい。春採生活館を訪れた人への説明員がいけないことは課題であり、市と協議して可能な方法で対応したい。

問 ヒグマ舎の改修（カムイに逢える動物園整備事業）と正面入り口の石積みの改修は来年度に行うのか。

答 ぜひ進めたいと考えている。

問 アイヌ協会から要望を受けているアイヌ工芸の担い手育成滞在施設、春採生活館へのコーディネートターの配置をどう考えているか。

答 阿寒湖の既存施設も含めて、担い手育成滞在施設は検討したい。春採生活館を訪れた人への説明員がいけないことは課題であり、市と協議して可能な方法で対応したい。

問 ヒグマ舎の改修（カムイに逢える動物園整備事業）と正面入り口の石積みの改修は来年度に行うのか。

答 ぜひ進めたいと考えている。

## 対応策の失敗は明らか

問 結局、支所廃止で行き場の失った人は、市役所の戸籍住民課に来ることになっていないか。

答 戸籍住民課の件数が増えたのは市役所に来たついでに申請する人が増えたためだ。

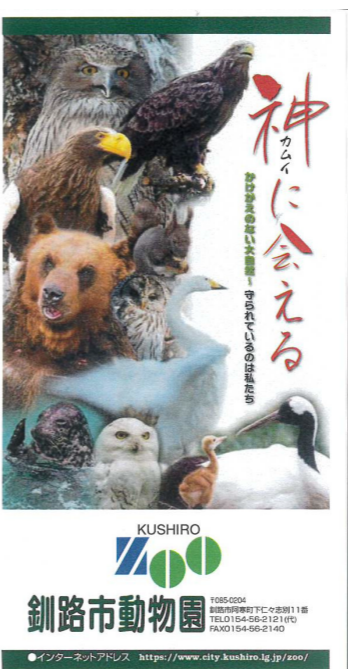
問 生協に配置している会計年度任用職員は今後もなくすべきではないか。

答 約束はできない。

問 市の対応策で5千万円のお金が使われ、効果を生まなかった。支所廃止は間違っていたということだ。支所を再開するよう検討せよ。

答 デジタルを利用していく。「スマホの中に市役所がある」を目指して進めていく。

支所廃止に伴う対応策がほとんど利用されていないことを「安堵している」と聞き直り、会計年度任用職員の雇用を守ることも約束しないなど、支所廃止を強行した市長の責任は重大です。



動物園のリーフから



村上千早しげ通信

発行 日本共産党市議団  
23年10月1日